

定例会議会議録

開催日時	令和4年7月27日(水) 午前10時00分～午後0時10分
開催場所	大会議室、公安委員会室
区分	『全体会議』議題・要旨
【報告事項】	<p>1 令和4年宮城県警察基本目標の取組状況等について</p> <p>生活安全部長から、「刑法犯認知件数の抑止について、6月末現在の県内の刑法犯認知件数は4,624件であり、前年同期比87件、1.9パーセントの増加であった。本年の刑法犯認知件数の抑止目標10,193件に対し、45.4パーセントの数値となっている。罪種別では、窃盗犯、詐欺が増加し、器物損壊等が減少している。特殊詐欺については、6月末における認知件数は146件で前年同期と比較して増加しており、被害金額も約1億836万円の増加となっている。特殊詐欺の被害は、固定電話への架電を端緒とすることが多いことから、各種媒体による固定電話対策の広報を実施するとともに、各警察署における特殊詐欺電話撃退装置の貸出、金融機関などと連携した特殊詐欺被害未然防止対策を引き続き推進する。」旨の報告があった。</p> <p>交通部長から、「交通事故死者数抑止目標44人以下として取り組んでいる。令和4年6月末の交通事故死者数は16人で、前年同期比で3人減少し、記録の残る昭和40年以降、上半期では最小の死者数となった。死亡事故の特徴については、死者16人のうち65歳以上の高齢者9人で、前年同期と比較して3人減少しているものの、死者全体の5割以上を占めている。なお、死者の中に15歳以下の子どもは含まれていない。下半期は、事故実態を踏まえ高齢者を加害者にも被害者にもしないための交通安全教育を一層強化するとともに、当面、暑い時期に増加傾向がある疲れ、居眠り等による漫然運転による車線逸脱事故防止に重点をおいた指導取締りを推進していく。」旨の報告があった。</p> <p>刑事部長から、「刑法犯検挙状況について、検挙人員は1,211人、検挙率44.5パーセントであった。刑法犯全体の検挙人員、検挙率は、ともに前年同期の数値を下回ったが、検挙率は全国平均43.5パーセントを上回った。重要犯罪は、検挙人員69人、検挙率80.9パーセントと高い数値であった。重要窃盗犯は、検挙人員64人、検挙率は62.9パーセントであり前年比マイナス12.3ポイントであった。」旨の報告があった。</p> <p>生活安全部長から、「特別法犯検挙状況について、特別法犯検挙は421件325人で、前年同期と比較して5件減少21人増加であった。そのうち、生活安全関係の検挙は304件232人で、前年同期と比較して21件減少、5人減少である。銃刀法、廃棄物処理法違反等の検挙が増加、著作権法、軽犯罪法違反等の検挙が減少した。」旨の報告があった。</p> <p>組織犯罪対策局長から、「特別法犯のうち、令和4年6月末における薬物事犯検挙は、73件52人で前年同期と比較して検挙件数は9件減少、検挙人員は2人減少している。昨年と比べ、大麻事犯の検挙が増加したものの、覚醒剤事犯、麻薬・向精神薬事犯及び麻薬特例法事犯の検挙が減少したことなどにより、検挙件数・検挙人員が減少した。近年、全国的に大麻事犯の検挙が増加しているため、その傾向に着目しながら今後の捜査を進めていく。」旨の報告があった。</p> <p>委員：交通事故死者数が減少した理由はあるのか。</p> <p>交通部長：高齢者に対する交通安全教室を、今年から再開したことに一因がある。</p> <p>2 サイバー防犯ボランティアの委嘱と今後の主な活動等について</p> <p>サイバーセキュリティ統括官から、「本県警察では、平成19年からサイバー防犯ボランティアを平成26年から大学生サイバーボランティアを委嘱している。大学生サイバーボランティアは、本年度から東北大学の学生も加わり5大学147名に委嘱している。大学生ボランティアは、前年対比プラス25人</p>

となり、全体の60パーセントは東北福祉大学の学生になっている。今後の取組予定は、SNS等に起因する児童性被害防止対策・特殊詐欺対策を夏休み期間中に合わせて9月30日まで実施する。サイバーボランティアの参加人数が増加しており、若い世代の社会貢献に対する意識が高くなっている。各大学での研修会や講話を実施し、大学生ボランティアの活動を広げていく。」旨の報告があった。

委員：非行少年に対してどのような啓発活動を行っているのか。

CS統括官：各警察署で非行防止の研修会を行っている。小学生に対しては、スマホのフィルタリング機能等を具体的に示しながら対策を講じている。

区 分	『 個 別 審 議 等 会 議 』
【 決 裁 事 項 】	<p>1 道路交通法の一部改正により導入された「若年運転者講習」指定講習機関の指定について 運転免許課管理官から、道路交通法の一部改正により導入された「若年運転者講習」指定講習機関の指定について説明がなされ、審議の上、決裁が行われた。</p> <p>2 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等 交通聴聞官から、運転免許取消処分に係る意見の聴取等の結果、11件の報告と説明がなされ、審議の上、量定が行われた。</p>
【 報 告 事 項 】	<p>1 警察に対する苦情について（令和4年6月末現在） 相談調査官から、警察に対する苦情事案（令和4年6月末現在）について、報告があった。</p> <p>2 令和3年度中の特定秘密の措置状況等に関する報告について 公安課管理官から、令和3年度中の特定秘密の措置状況等に関する報告について、報告があった。</p>